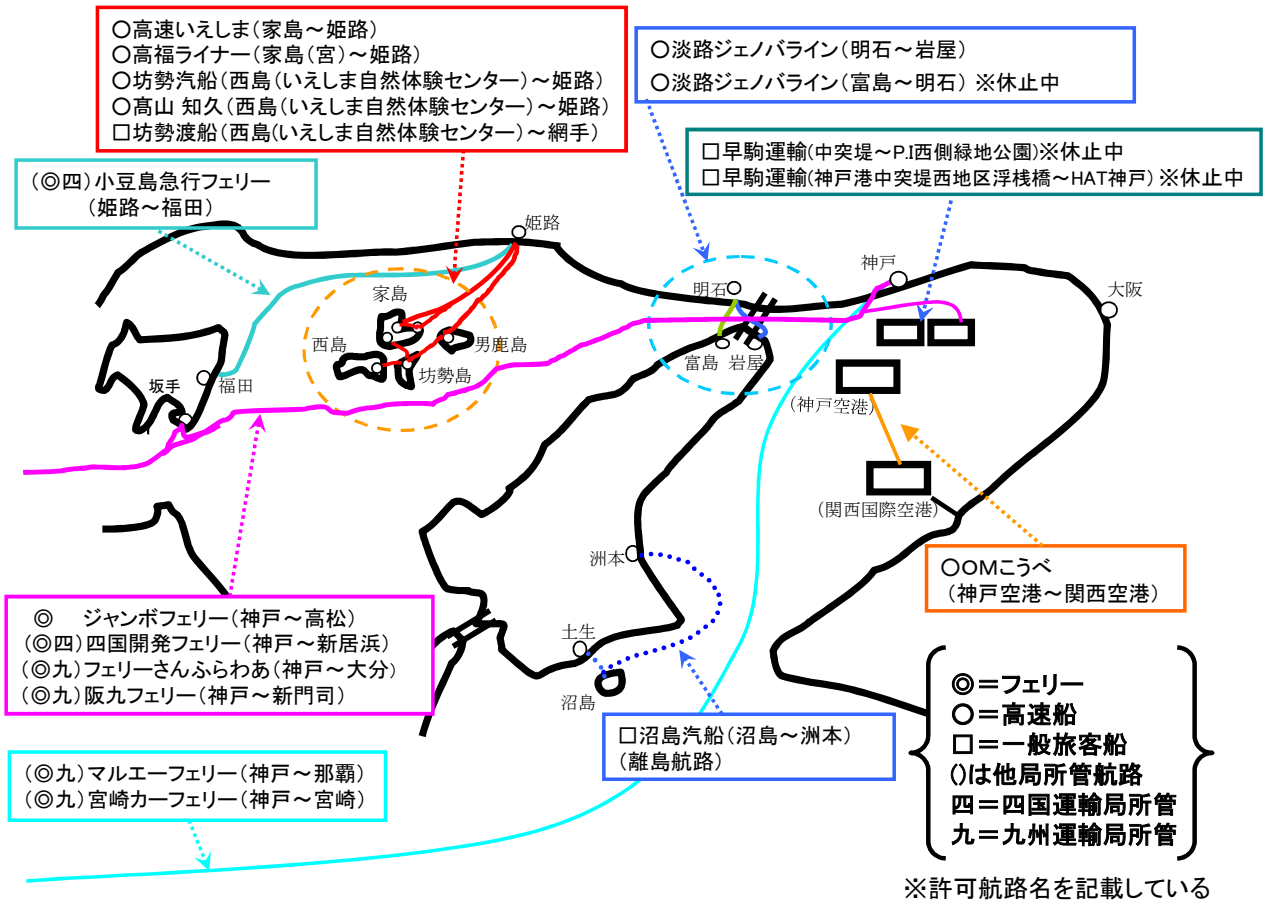


1 管内旅客船事業の現況

第1図 管内の主な一般旅客定期航路

(平成27年4月1日現在)



旅客船事業は、淡路島、小豆島、家島諸島、四国、九州方面への旅客輸送及び自動車航送を行っているもののほか、関西国際空港へのアクセス事業、神戸港、姫路港、東播磨港及び尼崎西宮芦屋港における通船事業並びに神戸港、山陰海岸、鳴門海峡での遊覧船事業がある。

(1) 旅客船事業者数及び航路数

所管事業者数及び航路数の状況は第1～2表のとおりである。

管内の平成27年4月1日現在の事業者数及び航路数は、一般旅客定期航路事業12社15航路(内、フェリーは1社1航路)である。

第1表 旅客船事業者数

(各年度とも4月1日現在)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
旅客定期航路事業	14	14	12	12	12
旅客不定期航路事業	22	22	21	20	21

第2表 旅客船航路数

(各年度とも4月1日現在)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
旅客定期航路事業	17	17	15	15	15
旅客不定期航路事業	39	40	40	39	42

(2) 旅客船事業の増減状況等

平成26年4月1日から平成27年3月31日までににおける旅客船事業の増減状況等は、第3～4表のとおりである。

旅客不定期航路事業は、一定の水域（ゾーン）を航行区域とする航路事業が認められたことなどから、21社42航路（対前年度比3航路増）となった。

第3表 旅客船事業航路の増減状況（所管航路）

	事業区分	事業者名	航路名	許可・届出年月日	事業開始・廃止年月日
増	旅客不定期航路事業	神戸ベイクルーズ(株)	中突堤起点神戸港域内（港則法による阪神港神戸区域内）周遊	H26.4.2	H26.4.2
増	旅客不定期航路事業	早駒運輸(株)	中突堤起点神戸港域内（港則法による阪神港神戸区域内）周遊	H26.4.9	H26.4.9
増	旅客不定期航路事業	(株)神戸屋形観光汽船	神戸港内兵庫運河周遊	H26.4.25	H26.4.25
増	旅客不定期航路事業	糸井雅明	淡路交流の翼港起点明石海峡周遊（ゾーン）	H26.6.17	H26.6.17
増	旅客不定期航路事業	(株)淡路ジェノバライン	明石港～津名港～洲本港～福良港～鳴門海峡経由～富島港～坂手港～明石港	H26.7.16	H26.7.20
増	旅客不定期航路事業	ジャンボフェリー(株)	神戸空港～新港第三突堤～坂手港～土庄東港	H26.9.11	H26.9.13
減	旅客不定期航路事業	糸井雅明	垂水漁港起点明石海峡周遊	H27.3.20	H27.3.1
減	旅客不定期航路事業	糸井雅明	垂水漁港起点飯屋沖周遊	H27.3.20	H27.3.1
減	旅客不定期航路事業	糸井雅明	淡路交流の翼港起点明石海峡周遊（ゾーン）	H27.3.20	H27.3.1

第4表 旅客船事業者の承継（所管事業者）

	事業区分	事業者名	航路名	届出年月日	承継年月日
承継	旅客不定期航路事業	(譲渡人) 藤原 孝治 (譲受人) 神田 幸範	柴山周遊	H26. 9. 9	H26. 9. 1
承継	旅客不定期航路事業	(譲渡人) 川口 茂 (譲受人) 山陰松島遊覧(株)	浜坂起点山陰海岸めぐり	H27. 3. 12	H27. 3. 1
承継	旅客不定期航路事業	(譲渡人) 川口 茂 (譲受人) 山陰松島遊覧(株)	浜坂～香住	H27. 3. 12	H27. 3. 1

(3) 輸送実績

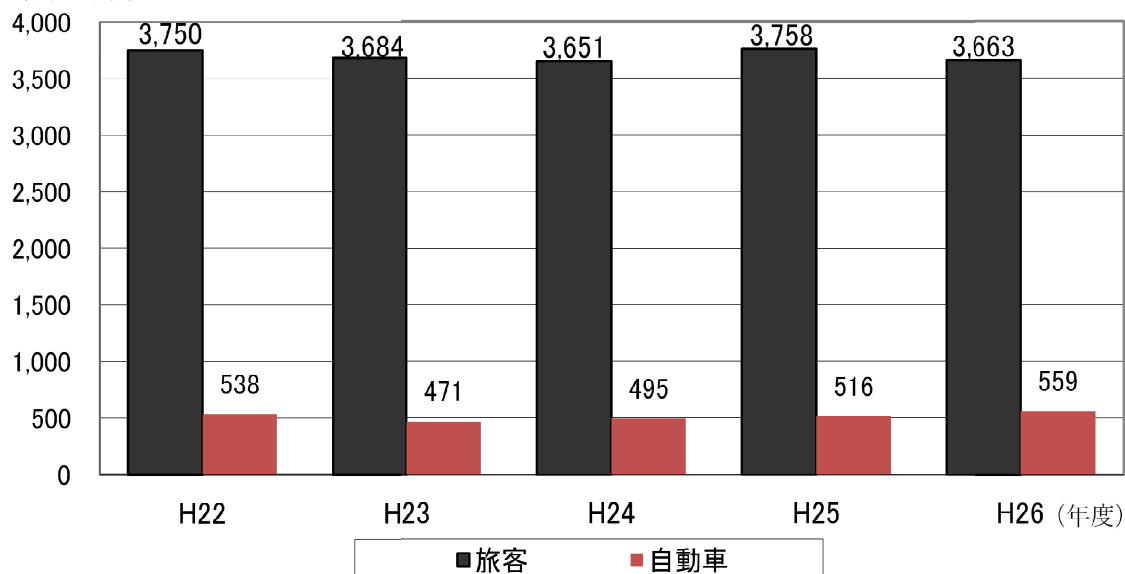
管内発着航路の輸送実績は第2図、方面別の輸送実績は第3～4図、生活離島航路の輸送実績は第5図、神戸港起点遊覧船の輸送実績は第6図のとおりである。

第2図 管内発着航路の輸送実績

※（ ）内は対前年度比を示す

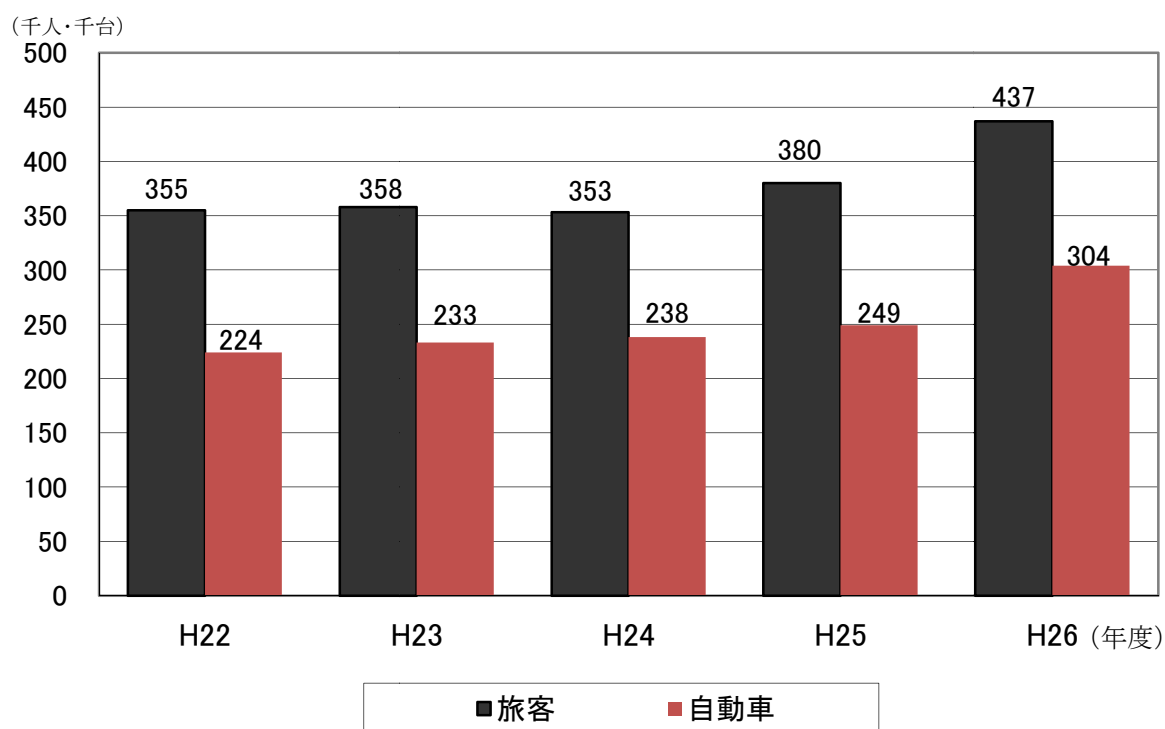
管内発着全航路（遊覧船等の不定期航路を含む）の輸送実績は、旅客3,663千人（97.5%）、自動車559千台（108.2%）となっている。

(千人・千台)



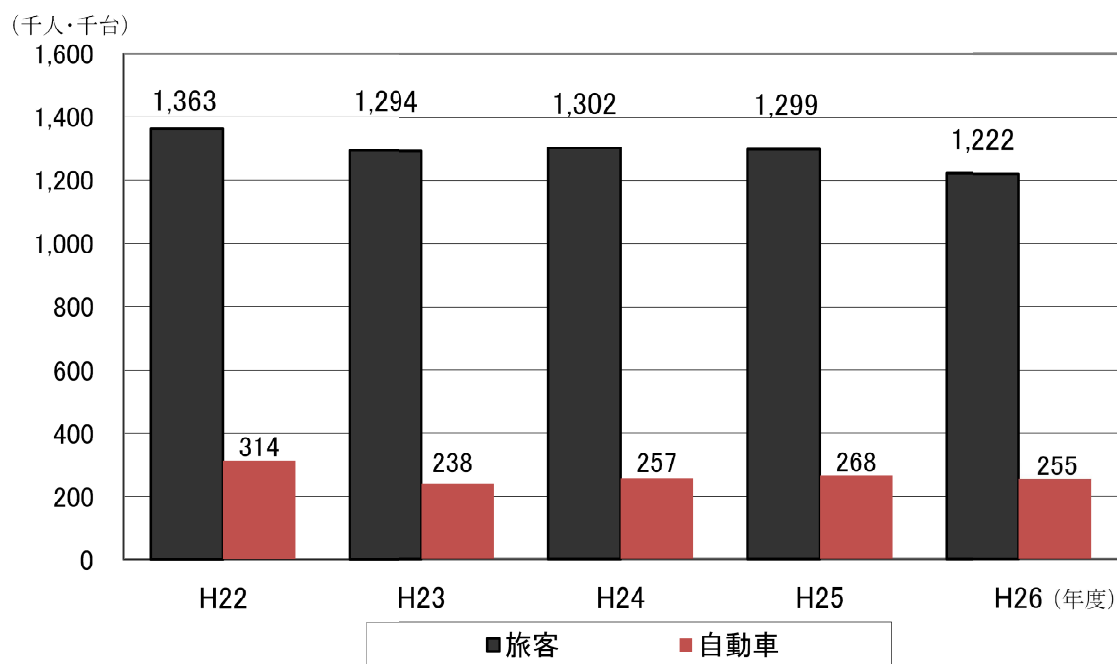
第3図 方面別輸送実績（九州方面）

九州方面の輸送実績は、旅客437千人（114.8%）、自動車304千台（122.2%）となっている。



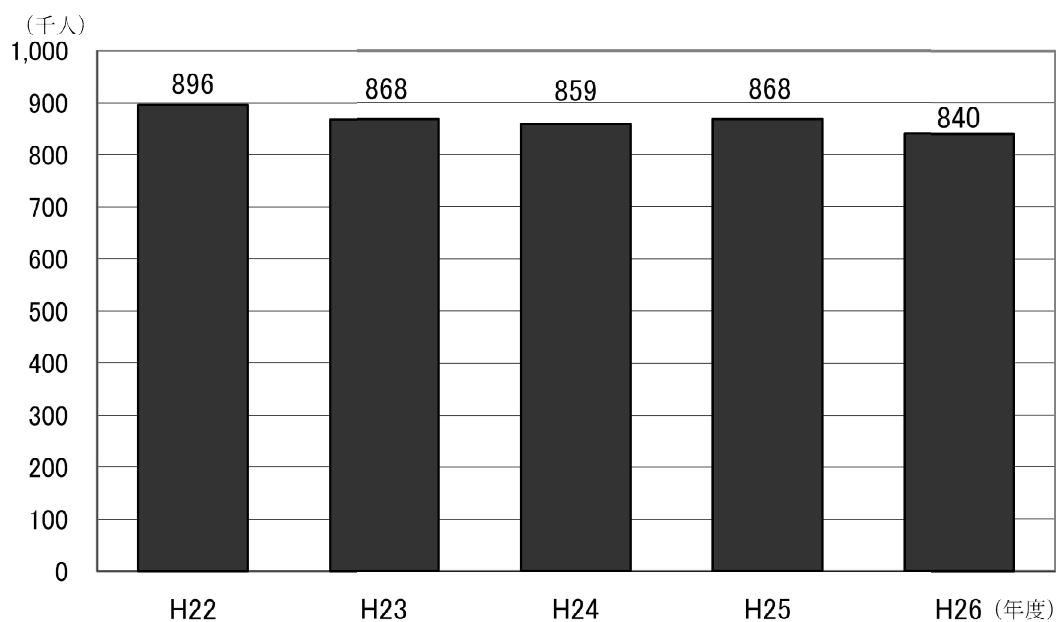
第4図 方面別輸送実績（淡路・四国方面）

淡路・四国方面の輸送実績は、旅客1,222千人（94.1%）、自動車255千台（95.3%）となっている。



第5図 生活離島航路の輸送実績（家島・沼島）

生活離島航路（家島・沼島）の輸送実績は、旅客840千人（96.8%）となっている。



第6図 神戸港起点遊覧船の輸送実績

神戸港起点遊覧船の輸送実績は、旅客550千人（90.6%）となっている。

